

# MacOS に SRIMfit インストメモ

2018.10/11 Ayoshida

## 《はじめに・おことわり》

- 私は MacOS を持っていないので、友人に MacBookAir をお借りして調べた限りの情報を以下に記します。

試験環境： macOS Mojave (ver.10.14) + Excel for Mac 2016 (ver.16.16.2)

この他の環境では、以下のメモと異なる場合があるかもしれません。予めご了承ください。

- MacOS の場合、以下の点でうまく動作していない模様です。

[難 1] File Path Separator が Windows と異なる。 → SRIMfit\_3.1.2 で対処済

[難 2] MS-Office システム AddIn フォルダが異なる？

[難 3] Excel の Object Module が少々異なる？様子です。

今わかっているこれらの不都合について、以下のような対処療法をしましたので報告します。

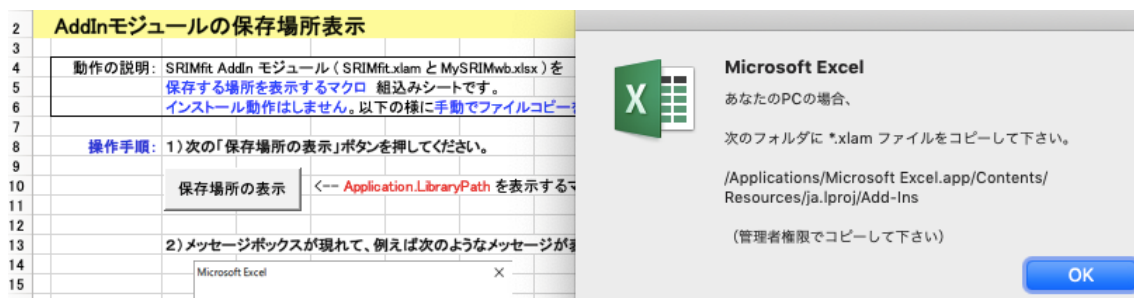
## 《インストール方法》

まず、HP インストール：自動インストールスクリプト は、Windows 専用のスクリプト (VBScript) ですの  
で、MacOS では使えません。完全手動でお願いします。(私は AppleScript がわからないのでサボってます)

### [1] システム AddIn フォルダの場所は ？！

[難 2] MS-Office システム AddIn フォルダが異なる？ 問題について、実はまだイマイチ理解していないのですが、うまくいった方法を以下に述べます。

手動インストール用に用意されている ‘2\_Install\_手動補助.xlsm’ を起動して、[保存場所の表示]ボタンを押して  
`Application.LibraryPath` を表示してください。

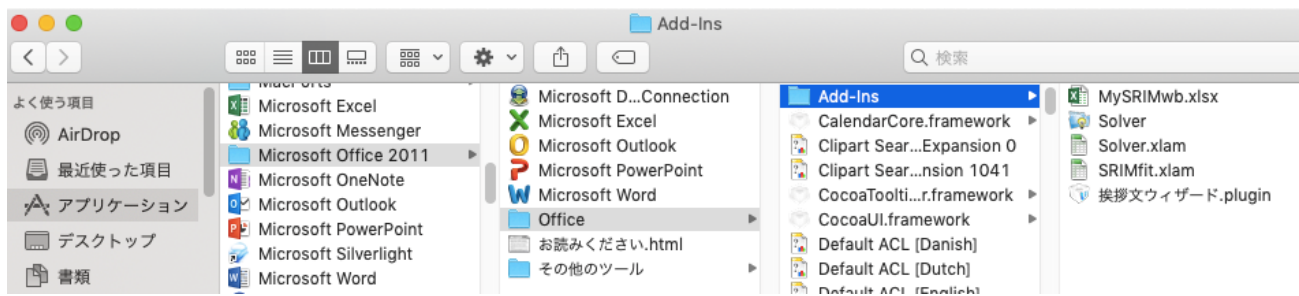


上図の例では、

`/Applications/Microsoft Excel.app/Contents/Resources/ja.lproj/Add-Ins`

と表示されています。実際、ターミナルでこの場所に `cd` する事は可能なので、このフォルダーは存在するらしいのですが、ターミナルの `cp` コマンドで ‘SRIMfit.xlam’ をコピーすると、“Permission denied”で拒否されます。

同じようなフォルダーを、Finder で探してみたのが次の図です。



アプリケーション/Microsoft Office~/Office/Add-Ins

が、それらしいです。そこには Solver などの AddIn が置いてありました。

上図の例では、Office2011 になっていますが、これはこの端末に昔 2011 が入っていたからで、これと同じ表示になるとは限りません。ご自分の端末で Solver がある場所を探してみてください。

ここへ、'SRIMfit.xlam' と 'MySRIMwb.xlsx' の 2 つ を管理者権限でコピーしてください。

必要に応じて、'E5Aexp.xlam' もコピーしておいてください。

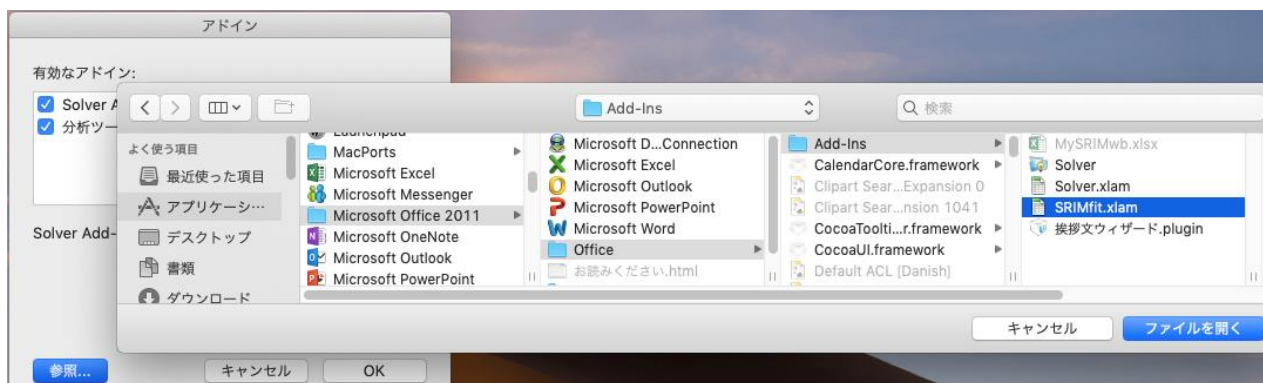
## [2] AddIn 設定

Excel で[開発]タブを表示できるようにしておいてください。

先ず Excel 2016 だけを起動して(SRIMfit 付属のファイルを開かずに)、「画面上側リボン: Excel:環境設定:表示」で、リボンに表示「開発者タブ」にチェックを入れると、表示できます。

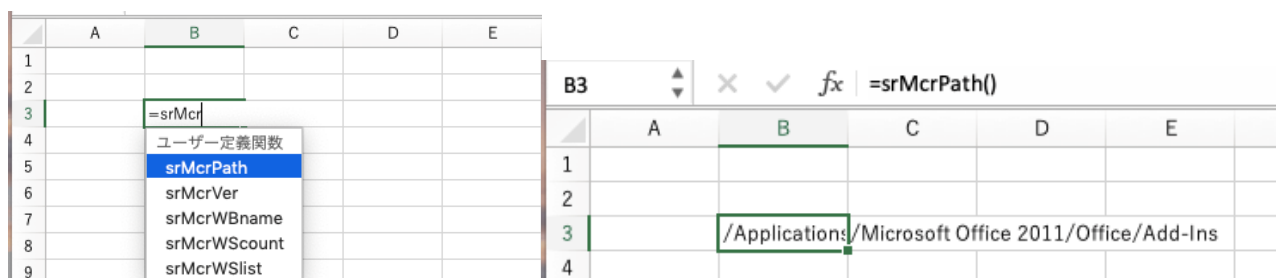


「開発タブ: Excel アドイン」で、有効なアドインが表示されます。



「参照」を押し、先ほどの Add-Ins フォルダーに置いた 'SRIMfit.xlam' を指定し、「ファイルを開く」です。

ここで一番簡単な動作テストをしてみます。「ファイル：新規作成」で、空のブックを開いて、セルに次の関数式を記入してみてください。

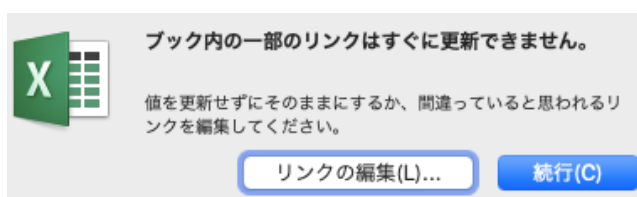
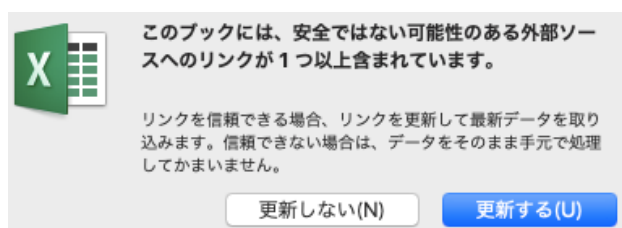


数式を途中まで入れると、関数一覧が表示されれば OK です。実際に srMcrPath() 関数の表示が、先ほど AddIn を入れた場所になっていれば AddIn 設定は完了です。

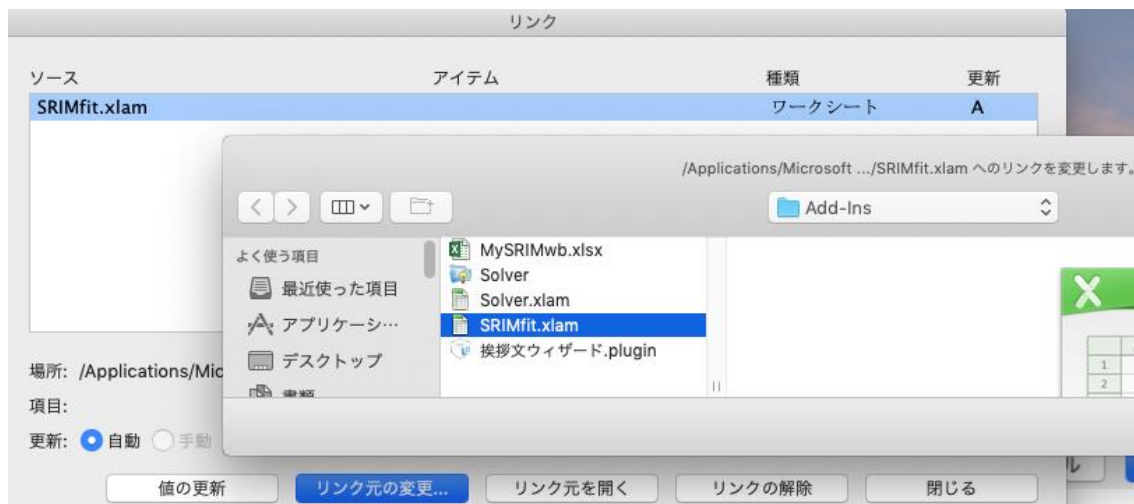
### [3] SRIMfit のサンプルを開いてみる

例えば、\_Install フォルダーに入っている '3\_Install 後\_動作確認.xlsx' を開いてみます。

MacOS 上へ Excel ファイルを持ってくると、ディレクトリ構造が全く違うマシンへ持ってきたことになりますので、「必ず以下のリンク切れエラーが発生します」。あきらめてください。



リンクを「更新する」を選択し、「リンクの編集」で進みます。

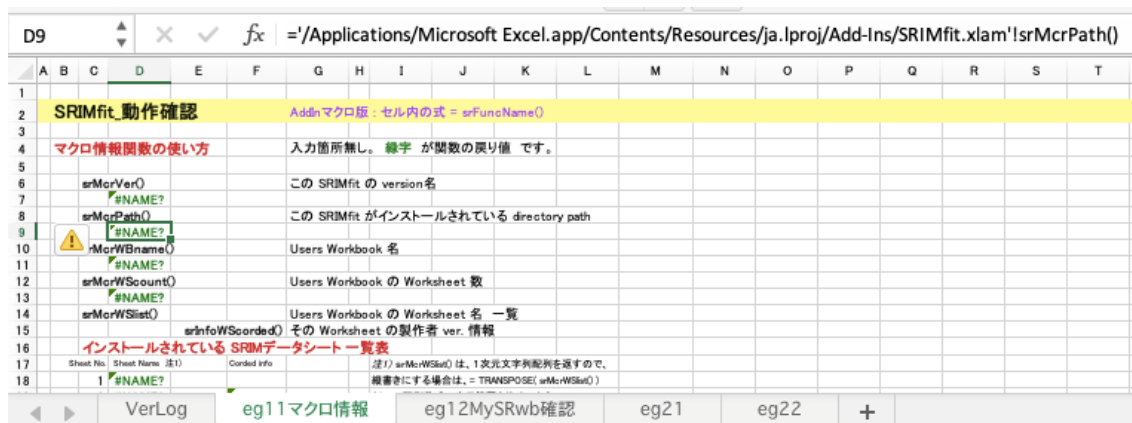


AddIn 設定は完了しており、「場所」にも正しいフォルダー名が表示されているのですが、これだけではダメです。MacOS 上へ持ってきた Excel ファイルのセルの中に記述されているリンク情報の更新が必要だからです。「[リンク元の変更](#)」を押して、先ほどと同じく **Add-Ins フォルダ** に置いた '**SRIMfit.xlam**' を選択してください。リンク切れ問題について詳しくは、AddinBox HP の [Tips21:Excel のリンクの管理と格納（ワークブックの移動で起きるリンクエラーの仕組み）](http://addinbox.sakura.ne.jp/Excel_Tips21.htm) [http://addinbox.sakura.ne.jp/Excel\\_Tips21.htm](http://addinbox.sakura.ne.jp/Excel_Tips21.htm) にある、大論文をご参照ください。次の様に、緑色字の部分が表示されれば「正常動作」です。セル内の数式表記は関数名のみが正常です。

D9	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1													
2				<b>SRIMfit_動作確認</b>									
3													
4				<b>マクロ情報関数の使い方</b>									
5													
6				srMcVer0									
7				SRIMfit v.300									
8				srMcPath0									
9				/Applications/Microsoft Office 2011/Office/Add-Ins									
10				srMcWBname0									
11				MySRIMwb.xlsx									
12				srMcWScout0									
13				179									
14				srMcWSlist0									
15													
16													
17													
18				1 VerLog									
19				2 srIm1H.Si									
20				3 srIm1H.AI									

#### [4] リンク切れを、手動で修正しなければならない場合

例えば '3\_Install 後\_動作確認.xlsx' を開いて、"#NAME?" エラーが出ている場合があります。リンク切れのまま、強引に Excel ファイルを開くようになります。

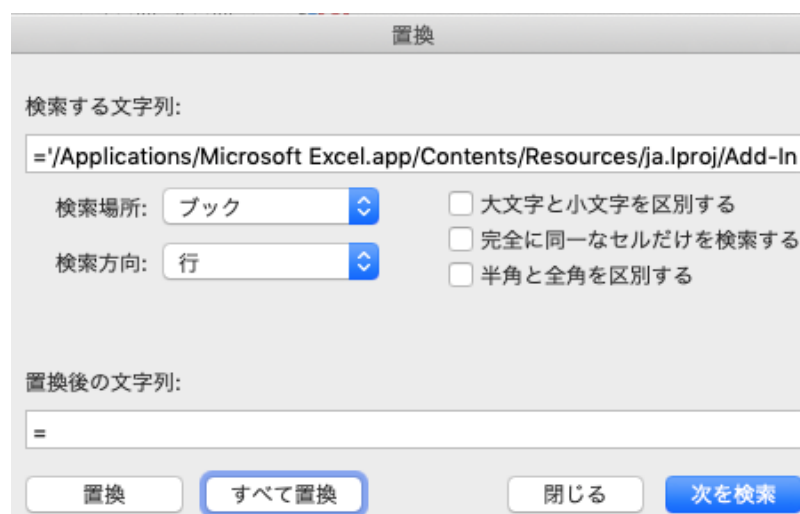


"#NAME?" エラーが出ているセルの関数呼出しを見ると、ディレクトリまで付いた長〜い関数呼出しになっています。「SRIMfit 技術メモ:HowTo-05 リンクエラー対策」を参照して、セル内容の修正が必要です。

開いている Excel ブック全体を検索して、セル内表記の置換をします。置換は、画面上リボンメニューの編集: 検索: 置換 からではダメで、Excel ウィンドウの右上の「検索ルーペ」から実行してください。



ルーペの右側をクリックすると、詳細メニューが表示されます。



検索文字列に、

`= '/Applications/Microsoft Excel.app/Contents/Resources/ja.lproj/Add-Ins/SRIMfit.xlam'!`

( = から ! まで です) を指定し、置換後文字列( = のみ) に置換します。 検索場所は「ブック」全体で、「すべて置換」です。 これでリンク切れエラーは解消すると思います。

## 《 まだ手付かず なモノ 》

- SRIMfit 関数のヘルプメッセージが表示できません。

どうも、[難 3] Excel の Object Module が少々異なる？ に関連した問題の様です。

詳細は、技術メモ：その他 memo:Excel for Mac 版インスト memo をご参照ください。

どなたか VBExcel for Mac に詳しい方、デバッグに成功したら教えてください。

## 《 その他 》

デバック作業上の注意

・アクティビティモニタで、動作中の Excel を毎回終了させること。もしくは、リボンの Excel を右クリックして終了。古い Excel プロセスが裏で動作しっぱなしなので。

以上です。 幸運を祈ります。